

「あ、あの…これ、マッサージじゃ…♡
んっ♡…こめんなさい、声がっ♡」

「気持ちよかつたら気にしないで
いっばい声出してくださいね」

「おっつも…♡それにしても凝ってますね、
こんなに大きいと大変でしょう？」

「あっ…♡その、そろそろ胸は…
おっばいが染みてきちゃって…♡」

「ああ、すみませんつい夢中に
なっちゃって…、それじゃあ下の方も
ほぐしていきますね…」

「えっ…」

「へえ、ちゃんとこういうのも
持つてるんですね、普段はコレで
してるんですか？」

「おっ♡これっ♡マッサージじゃないの♡
のおおっ♡イクイクっ…♡やつ、やめっ…♡」

「ほら、イク時はちゃんと声に出してっ！
ちゃんとイクまで止めてあげませんよ」

「んおっおっ!? イってりゅ♡もうイってりゅからあっ♡
一回…やめっ♡…うオっ♡まだイグつつ♡♡♡」

「ー
ガッ」

「おおく…人妻まんこやつっぱ…
こんなエロい身体してるのが悪いんですからね…
あ…ケツもやわらけ…」

「おおおつ…潰れりゆうっ…
体重かけないでええっ…
奥っ♡ぐりぐりイジめないでええっ…」

「んおおつ…それ止めっ…
何これっ♡こんなの知りやないいつ…」

「チンポ締め付けてまんこ喜んでんの
バレてますよ…人妻まんこ絶対孕ますからな…」

「これからたっぷり開発してあげますからね
おら、腰逃がそうとすんな…」

「ほおおお…浮気チンポだめえ…
孕まされちゃうう…」



「キスっ♥キスもつとしてえ♥
んむう♥んちゅん♥ん〜♥」

「いくらチンポ欲しいからって恥ずかしくないわけ？
この年で兄弟増えたら皆の前でどんな顔すんのw」

「ああん♥いじわる言わないでえ…♥
今はアナタのメスにしてください♥」

「人妻が初対面の男にそんなこと
言っちゃダメだろっ、
どんだけ欲求不満だったんだ」

「おっおっ♥ごめんなさいっ♥
ドスケベ妻でごめんなさいっ♥」

「孕んでから反省しろっ！明日から毎日
ハメ潰してやるからな！」

「…んほおおお…♥
…ありがとう…ごめんなさい…♥」



「おお…人妻まんこやつっぱ…
こんなエロい身体してるのが悪いんですからね…
あ…ケツもやわらけ…」

「おおおつ…潰れりゆうっ…
体重かけないでええっ…
奥っぐりぐりイジめないでええっ…」

「んおおつ…それ止めっ…
何これっ…こんなの知りやないいつ…」

「チンポ締め付けてまんこ喜んでんの
バレてますよ…人妻まんこ絶対孕ますからな…」

「これからたっぷり開発してあげますからね
おら、腰逃がそうとすんな…」

「ほおおお…浮気チンポだめえ…
孕まされちゃうう…」

「おっおっ…」



「キスっ♥キスもつとしてえんむう♥んちゅん〜♥」

「いくらチンポ欲しいからって恥ずかしくないわけ？この年で兄弟増えたら皆の前でどんな顔すんのw」

「ああん♥いじわる言わないでえ…♥今はアナタのメスにしてください♥」

「人妻が初対面の男にそんなこと言っちゃダメだろっ、どんだけ欲求不満だったんだ」

「おっおっ♥ごめんなさいっ♥ドスケベ妻でごめんなさいっ♥」

「孕んでから反省しろっ！明日から毎日ハメ潰してやるからな！」

「…んほおお…♥…ありがとう…♥ごめんなさい…♥」















